

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 総務市民局

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	商業・サービス産業・農林水産業の振興
	取組みの方針	市民が豊かさを感じる生活関連サービス産業の振興

担当局 / 総務担当課名	総務市民局	総務課
連絡先	582 - 2102	

21年度計画

-2-(2)-

施 策 名 コミュニティビジネス創出の支援

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	介護・福祉、子育てなどの地域コミュニティが抱える課題を地域住民やNPOなどが主体となって解決するコミュニティビジネスの創出を支援します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	市民が豊かさを感じる生活関連サービス産業の振興

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
	健康関連サービス等、サービス産業の創出に向けた取り組み実績(セミナー等への参加者数)	年度	平成20年度		年度	平成25年度		
施策の成果	コミュニティビジネスの啓発・普及を推進するため実施するセミナーの参加者確保に努めます。セミナー参加者の目標値については、関係部署との連携を図り、50%増を目指すこととしました。	現状値	20人	実績	24人	目標値	30人	
				達成度	120.0%			
		年度		計画		年度		
		現状値		実績		目標値		
				達成度	%			
		年度		計画		年度		
		現状値		実績		目標値		
				達成度	%			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]			事業費	488千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
				うち一般財源	488千円	1,395千円		

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	B	コミュニティビジネスの啓発・普及を促進するためのセミナーへの参加者は、一定の増加をしており、最終年度の目標達成に向け順調な推移だといえます。しかしながら、本市においてコミュニティビジネスの創出が進んでいる状況にはありません。
		今後の局施策の方向性 地域課題をビジネス的な手法による解決を目指すコミュニティビジネスと社会課題をビジネス的な手法による解決を目指すソーシャルビジネスとの概念の差はほとんどなくなっています。ソーシャルビジネスを担当する産業経済局と連携を図り、新たなビジネスの創出を支援します。

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	総務市民局	地域振興課
連絡先	582-2111	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	商業・サービス産業・農林水産業の振興
	取組みの方針	市民が豊かさを感じる生活関連サービス産業の振興
	主要施策	コミュニティビジネス創出の支援

関連計画	
事業期間	平成15年度
経費区分	裁量経費

-2-(2)-

事業名	コミュニティビジネス推進事業(再掲)
------------	---------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	地域が抱える課題を地域資源を活かしながらビジネス的な手法によって解決しようとする「コミュニティビジネス」の振興を図ります。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	NPO、ボランティア活動の支援	成果	健康関連サービス等、サービス産業の創出に向けた取り組み実績(セミナー等への参加者数)

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	20人	20人	セミナー参加者 25人	25人	30人		30人	
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		セミナー参加者						計画	20人	年度
		事業の成果について、コミュニティビジネスの啓発・普及を推進するため実施するセミナーの参加者数を評価の指標とします。						実績	24人	年度
								達成度	120.0%	内容
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月[21年度:執行額]						事業費	488千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
							うち一般財源	488千円		内容
単年度計画	(この欄は、単年度計画の進捗状況を確認するための欄です。)									

[事業の実施結果・進捗状況の確認]

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	コミュニティビジネスの入門セミナー、交流会、個別相談会などを開催し、啓発・普及活動に努めた。また、受講者アンケート結果も好評であり、コミュニティビジネスの振興に寄与しました。
-------------	-------------------------------------	---

[事業の再検証]

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4:高い	3	セミナー参加者アンケートでは、満足度95%を得ています。コミュニティビジネスの立ち位置の重要性が初めて理解できたなど具体的な評価も多く、有効性は高いと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3:やや高い	3	事業費に比して、参加者数と満足度を勘案すれば、経済性・効率性は高いと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2:やや低い	3	市民活動団体が公益的活動を継続する上で、コミュニティビジネスという概念を理解することは重要です。停止・廃止されれば、市民活動団体等がビジネスの手法を学ぶ機会を失うことになります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	1:低い	3	コミュニティビジネスは、収益を得ながら、同時に地域貢献を果たすことを目指している。自立した市民活動団体を増やし、市民活動を促進するため、市として啓発普及に努める必要があります。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ア	現在、地域の課題をビジネスの手法で解決していくコミュニティビジネス(CB)と社会の課題をビジネスの手法で解決していくソーシャルビジネス(SB)との概念の差はほとんどなくなっているため、今後は、これらを一体的に推進して行くよう取り組んでまいりたい。